

(社)全日本鍼灸学会

平成 20 年度 第 5 回理事会 会議議事録

□. 開催の日時及び場所

日 時：平成 21 年 3 月 20 日(金・祝) 午後 12 時～14 時

場 所：日本鍼灸会館 4 階会議室（東京都豊島区南大塚 3-44-14）

□. 出席者

定足数の確認：理事総数	20 人
出席理事	18 人
欠席理事	2 人（安藤文紀、妹尾匡躬）
委任者	1 人（安藤文紀）
計	19 人
出席監事	2 人（宮本俊和、矢野 忠）
出席参与	1 人（形井秀一）

議事録署名人：小松秀人、高澤直美

書 記：菅原之人、大久保淳子、波田康

□. 議事の経過要領および結果

司 会：事務局長	福村 昭
挨拶：会 長	後藤 修司
議 長：会 長	後藤 修司

議事に先立ち、後藤修司会長から挨拶があった。

【審議事項】

1. 平成 21 年度各部事業計画案

1) 総 務

福村昭事務局長より資料に基づき説明があった。

- ・新公益法人の移行に向けて内閣府や文科省からの指示に基づき、適宜出向及び書類の提出を行う予定である。
- ・JCB カードによる学術大会参加費引き落としについて、今度業者から説明を受ける予定である。その後、手数料や事務負担の軽減などを総合的に勘案して採否をを検討する。

2) 学術部

北小路博司学術部長より資料に基づいて説明があった。

- ・第 60 回以降の学術大会に関するエントリー方法について、支部運営委員会にエントリーをしてもらう方向で素案を 6 月位までに策定することで承認された。

3) 編集部

野口栄太郎編集部長より資料に基づき説明があった。

- ・特に投稿規定の改定について会員への周知を図っていききたいとの事であった。

4) 国際部

若山育郎国際部長より資料に基づき説明があった。

5) 広報部

金井正博広報部長より資料に基づき説明があった。

- ・財務諸表や会員名簿の公開を文科省から指導をうけており、公開の方向で検討してほしいとの事であった。審議の結果、会員名簿と認定名簿を別々に 50 音順で公開することで承認された。
- ・学術大会HP 作成について大枠は広報部が企画するが、各コンテンツは実行委員会で作成して

もらう。また、作成費用について埼玉大会は実行委員会が予算の中で負担しているが、大阪大会からは学会で負担とすることで承認された。

6) 組織部

安雲和四郎組織部長より当日資料に基づき説明があった。

- ・特に支部運営の充実を図るため、支部活動費の増額を行いたい。

7) 研究部

川喜田健司研究部長より資料に基づき説明があった。

- ・公募研究の結果については学会誌に掲載する方向で検討していく事とした。

審議の結果、平成 21 年度各部事業計画案は全て承認された。

2. 第二次日本経穴委員会

形井秀一参与（第二次日本経穴委員会委員長）より『経穴集成』のオンデマンド化とそれに伴う著作権、発行等について資料に基づき説明があった。検討事項としては著作権の帰属に関するもので、審議の結果、著作権を第二次経穴委員会に移管することが承認された。

3. 平成 21 年度認定委員会事業計画案

福村認定委員会事務局長より資料に基づき説明があった。

- ・ C 研修の数が少なく各県で開催されるわけではない現状を鑑み、理事会として支部運営委員に対して、研修会の積極的な開催と各支部での平等な開催をお願いする。また、認定を受けることのメリットを周知するよう広報部と広報活動を行っていくこと事とした。
- ・ 認定得点の設定については、今後認定委員会で検討を行っていく事とした。

審議の結果、認定委員会事業計画案は承認された。

4. 平成 21 年度予算案

小川卓良副会長より資料に基づき説明があった。

- ・ 一般会計と分けて、認定委員会、高木賞、国際シンポジウムの 3 事業を特別会計とすることとした。

審議の結果、平成 21 年度予算案は承認された。

5. 鍼の国際規格会議

形井秀一参与および山下仁国際部副部長より資料に基づき説明があった。

- ・ 会議では単回私用毫鍼のみならず、灸・生薬・中医理論などについても ISO 提出の動きがあることから、学会としての対応を検討してほしいとの申し出があった。審議の結果、JLOM に対策委員会を設置するよう学会として働きかけること。また、鍼灸については学会として今後の対応を検討していく事で承認された。

6. 役員選任規程の改正案

小川卓良副会長より資料に基づき説明があった。

- ・ 改定箇所としては第 3 条 2 項および第 6 条 1 項の部分と、条文の一部削除、整備を行った。

審議の結果、役員選任規程の改正案は承認された。

7. 旧地方会の動向について

- ・ 動向調査としてアンケート調査を実施し、今後の対応を考えることで承認された。
- ・ 学会発表時の所属欄への記載名については今後ガイドラインを作成して対応する。また、ガイドライン完成までは他学会名での発表は認めないこととし、旧〇〇地方会という名前での発表は認めることで承認された。

8. 鍼灸に関する医療苦情処理の対応

- ・ 福村昭事務局長より、事務局に問い合わせがある医療苦情について、学会としての対応方法を検討してほしいとの申し出があった。審議の結果、鍼灸医療推進研究会で苦情処理方法の詳細を検討する方向で承認された。

以上、すべての議案について承認された。

以上をもって平成 20 年度第 5 回理事会の議事を全て終了した。

理事会の議事の経過要領およびその結果を証するため議事録を作成し、議長および議事録署名人は次に署名・捺印する。

平成 21 年 3 月 20 日

社団法人 全日本鍼灸学会 理事会

議 長

議事録署名人

議事録署名人